

河川

近畿管内では10水系の河川、4つのダム、4つの砂防、1つの地すべり、1つの海岸事業をすすめています。

(新宮川水系・紀の川水系・大和川水系・淀川水系・加古川水系・揖保川水系・円山川水系・由良川水系・北川水系・九頭竜川水系河川改修、瀬田川水系・木津川水系・六甲山系・九頭竜川水系砂防、亀の瀬地すべり対策、東播海岸)

もうこりごりや 水災害・土砂災害

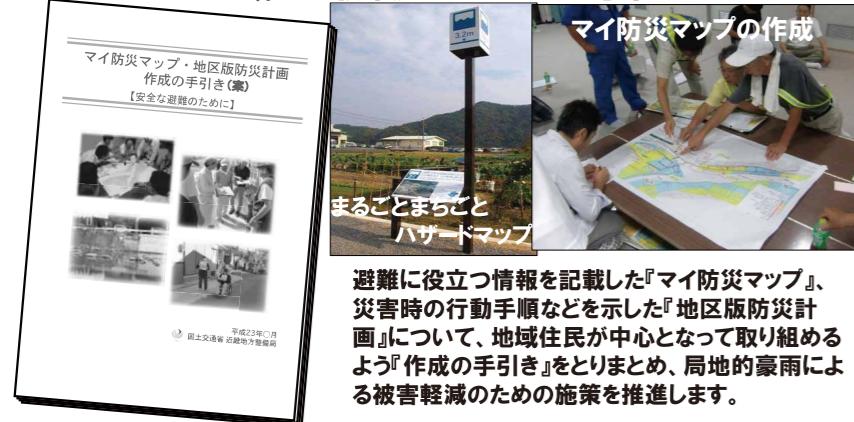
~犠牲者ゼロ・社会機能確保に向けたハード対策~



~津波・地震対策~

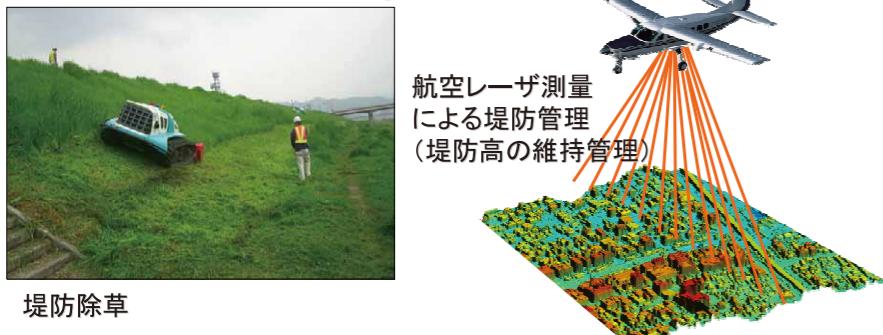


~地域との協働によるソフト対策~



避難に役立つ情報を記載した『マイ防災マップ』、災害時の行動手順などを示した『地区版防災計画』について、地域住民が中心となって取り組めるよう『作成の手引き』をとりまとめ、局地的豪雨による被害軽減のための施策を推進します。

~河川堤防等の維持・管理~



堤防除草

~4つのダム・5つの堰の管理~



河川事業をすすめることで、地域を守りつつ
盛り上げていくことを考えています。

なんとかせんと地球温暖化

～近畿を元氣にする 川からの にぎわい近畿～

- ・川と社会との関わりという視点で近畿の元気回復を応援したい！
- ・川の元気から社会の元気へ、次世代につながる川づくりを目指す！

近畿をにぎわす『4つの柱』

もうこりごりや 水災害・土砂災害

- ・ハード・ソフトの予防・減災措置を進め、安心して活躍できる舞台をつくります。

もりあげようや 地域の力

- ・地域の魅力・活力を掘り起こし、高めることを支援します。

なんとかせんと 地球温暖化

- ・新たな知恵と行動により、次世代に安心な社会を引き継ぎます。

まもらなあかん 自然環境

- ・目標を定め、大切な環境や景観の保全・復元に努力します。

～100年後に地球の平均気温は1.8～4.0℃上昇～
(IPCC第4次報告書)

地球温暖化に伴う大規模水害の回避、局地的な大雨による犠牲者ゼロを目指した具体的な対応策や適切かつ迅速な避難のあり方などのソフト対策といった河川整備のあり方について検討していきます。

これまでの治水対策を着実に進めるとともに、犠牲者ゼロと社会機能麻痺回避を実現する水害適応型社会の構築を目指します。

もりあげようや 地域の力

～川と高める地域の魅力・活力向上支援～



六甲山系グリーンベルト整備事業では目指す災害に強く自然豊かな森づくりを普及・啓発する目的で「どんぐり育成プログラム」を実施しています。

また、河道内樹木の伐採木などは、切り分けたりチップ化して、薪や園芸の材料として地域へ提供することで、処分費などのコスト縮減を図っています。

まもらなあかん 自然環境

～大切な環境や景観の保全・復元～



河川事業をしっかりとすすめるために

環境や安全に対する国民意識の高まりや、厳しい財政状況、さらには客觀性、透明性の確保に向けて、効率的・統合的に河川事業をすすめるため、事業マネジメント計画をはじめとするさまざまなマネジメントを強化します。

また、堤防や護岸、水門等の河川管理施設について、洪水などの災害時に治水効果が確実に発揮できるよう日頃から適切に維持管理します。